

にほん ぶんか にがて 日本文化の苦手なこと

URL: <https://youtu.be/telAX7PKhhk>

こんかい
今回は「日本文化の苦手なこと」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立てください。

じこ しょうかい ■自己紹介

わたし なまえ
私の名前はアリスです。アメリカのシカゴという大きな町で生まれました。今
は日本の東京に住んでいます。日本に来た理由は、日本文化がとても好きだからです。
昔から日本のアニメやマンガ、そして和食に興味がありました。大学生のとき、日本語を勉強して、日本で生活してみたいと思うようになりました。

にほん き まいにち
日本に来てから、毎日いろいろなことに驚きました。日本の街はとてもきれいで、みんなが時間を守ります。そして、たくさんのルールやマナーがあります。それはすごく良いことですが、外国から来た私には「難しいな」と思うこともあります。

たとえば、時間にきびしいことや、食事のときのマナーです。最初は「どうしてこんなにルールがあるの?」と思いました。でも、日本人の生活を見ると、その理由が少しずつ分かるようになりました。今では、日本の文化をもっと知りたいと思っています。

これから、私が感じた「日本文化の苦手なこと」について話します。でも、苦手だと思っていたことが、今では楽しいことになった体験もあります。日本文化にふれたことで、自分が成長したと思うこともたくさんありました。みなさんにも、私の体験を知ってもらえたらうれしいです。

■「5分前行動」の時間感覚

日本では、約束や予定の時間に遅れることは、よくないと考えられています。むしろ、日本人は時間より少し早く着くことが「当たり前」だと思っています。この考え方は「5分前行動」と言われています。たとえば、9時に約束があるとき、日本人は8時55分にはその場所にいるようにします。

私は日本に来たばかりのころ、この5分前行動にとってもびっくりしました。アメリカでは、少し遅れることがあっても、だれも気にしません。でも、日本では「時間を守ることはとても大事なマナーです。相手に対して失礼にならないように」という気持ちがあるからです。

日本では、小学校や中学校で「時間を守ることを」しっかり教えます。先生は「5分前に行動しなさい」と言います。子どもたちは、このルールを毎日守るように指導されます。学校の授業やクラブ活動、仕事の会議などでも「5分前」が普通です。

私は初めて友だちと待ち合わせをしたとき、少し遅れてしまいました。そのとき、友だちは笑顔でしたが「もう少し早く来たほうがいいよ」と言われました。その友だちは怒っていませんでしたが、私は「気をつけないといけないな」と思いました。

日本の5分前行動を理解することは、最初は難しいかもしれません。でも、これを楽しむこともできます。たとえば、スマホのアラームを使って、少し早めに家を出るようにします。また、待ち合わせ場所に早く着いたら、本を読んだり、音楽を聞いたりして待っている時間を楽しむこともできます。

今では、私も「5分前行動」が少しできるようになりました。時間に間に合うと「自分も成長したな」と思います。時間を守ることは、相手を大切にする気持ちにつながるのだと感じました。日本の時間感覚は、最初は難しいですが、きっと自分のためになります。

■食事のマナー「音を立てる」と「残さない」

日本では、食事のマナーがほかの国と少しちがいます。特に、麺を食べるときのマナーには、びっくりする外国人が多いです。日本では、ラーメンやそば、うどんを食べるときに音を立てて食べることが普通です。これは「おいしい」という気持ちをあらわすマナーでもあります。

私は日本に来たばかりのころ、ラーメン屋さんで「音を立てる」ということがどうしてもできませんでした。アメリカでは、食事のときに音を立てることは「行儀がわるい」とされているからです。でも、日本では逆に、静かに食べるほうが「おいしくなさそう」に見えることもあります。

初めて友達と一緒にラーメンを食べに行ったとき、友達が「ズズッ」と大きな音を立てて食べていました。はじめは「え？」とびっくりしましたが、「日本ではこれが普通だよ」と教えてくれました。その後、私もがんばって音を立てて食べてみました。すると、ラーメンがもっとおいしく感じました。音を立てることで、スープの香りが口の中に広がります。

また、日本では「食べ物を残さない」ことも大切なマナーです。これは「もったいない」という考え方があるからです。「もったいない」とは、食べ物や物を大切に作る気持ちです。食事を作ってくれた人や食べ物への「ありがとう」の気持ちがふくまれています。

私も、食べきれないことがありました。でも、日本人の友達が「少しずつ食べればいいよ」と教えてくれました。それからは、料理を注文するときに「食べきれる量」を考えるようになりました。そして、食事のあとにお皿がきれいになっていると、なんだかうれしい気持ちになります。

今では、私はラーメンを食べるときに音を立てることが楽しくなりました。日本本の「食事のマナー」は最初は難しいかもしれませんが、文化の違いを楽しむことで、日本の食事がもっとおいしく、楽しくなります。

■日本人の「身だしなみ」と清潔さ

日本では、身だしなみや清潔さをとても大切にします。身だしなみとは、服装や髪型、そして体をきれいにすることです。日本人は「自分の見た目」が周りの人に与える印象を気にします。

たとえば、学校では服装のルールがたくさんあります。中学校や高校では、服装検査というものがあり、制服が正しく着られているか、髪が長すぎないかなどを先生がチェックします。ほとんどの学校でこれが行われます。仕事でも同じで、多くの会社ではスーツをきれいに着たり、靴を磨いたりします。

また、日本の電車やお店では、においや汚れに気をつける人が多いです。特に夏は、汗をかくので、みんなハンカチやタオルを持ち歩いています。そして、電車の中や学校で香水をつけすぎることマナー違反になります。日本人は周りの人に迷惑をかけないように気を付けています。

では、どうすれば日本の清潔さに合わせられるのでしょうか。まずは、自分の服や靴がきれいか、毎日チェックすることが大切です。そして、汗をかいたらハンカチやタオルを使うといいです。また、香水は少しだけつけるようにすると、日本人にとってちょうどいい香りになります。

今では、私も身だしなみに気をつけるようになりました。服がきれいだと、自分も気持ちよくなります。そして、周りの人にも「きちんとした人だな」と思ってもらえます。日本人の清潔さや身だしなみは、最初は難しいと感じるかもしれませんが、でも、少しずつ意識することで、日本の生活がもっと楽しくなります。

■「シャイすぎる日本人」と英語の壁

日本に来て、最初にびっくりしたことのひとつは、日本人がとてもシャイだということです。シャイとは、人前で話すのが恥ずかしかったり、自分の気持ちをすぐに言わないことです。日本人は外国語が少し話せても、話そうとしないことがよくあります。その理由は「間違えたら、恥ずかしい」という気持ちが強いからだだと思います。

にほん がっこう えいご べんぎょう にほんん はな れんしゅう
日本の学校では、英語の勉強をします。でも、日本人は「話す」練習をあまり
しません。だから、「英語がわかって、話すのは難しい」と感じている人が
多いのです。たとえば、「Hello!」と言っても、日本人はびっくりして
しまうかもしれません。

にほんじん ほんとう やさ えいご はな がいこくじん
でも、日本人は本当はとても優しいです。英語がうまく話せなくても、外国人
を助けたいと思っています。たとえば、道に迷ったとき、私は「すみません、
ここはどこですか?」と聞きました。その人は「こっちです」と言いながら、
いっしょに目的地まで案内してくれました。言葉が少ししか通じなくても、そ
の気持ちがとてもうれしかったです。

にほんじん えいご はな かんたん えいご にほんご つか おも
日本人に英語で話しかけると、簡単な英語や日本語を使ってみるといいと思
います。たとえば、「すみません」や「ありがとう」を覚えておくだけで、相
手も安心します。そして、日本人と話すときは、ゆっくり笑顔で話すと、少し
ずつ会話ができるようになります。

いま にほんじん ことば きも たいせつ す
今では、日本人の「言葉よりも気持ちを大切に使う」というところが好きです。
間違いを気にせず、少しずつ話しかけてみると、日本人の優しさに気づくこと
ができます。

■知らない人と一緒にお風呂に入る

にほん おんせん せんとう ぶんか おんせん あた ゆ ばしょ
日本には温泉や銭湯という文化があります。温泉は、温かいお湯がわく場所の
ことで、観光地にもたくさんあります。銭湯は、地域の人が家の近くで入るお
風呂です。どちらも大きなお風呂に知らない人と一緒に入ります。外国では、
自分の家のお風呂で一人で入ることが多いので、この文化にびっくりする人が
多いです。

わたし にほん き おんせん い とも
私も日本に来たばかりのころ、温泉に行くことになりました。友だちに「みん
なで温泉に行こう!」と言われたとき、私はとても恥ずかしいと思いました。
「知らない人と一緒にお風呂に入るなんて、無理!」と思ったからです。でも、
日本の友だちは「大丈夫だよ!温泉はとても気持ちいいよ!」と言いました。

おんせん つ ふう おお ふろ はい わたし ゆ
温泉に着くと、みんなが服をぬいで、大きなお風呂に入っていました。私も勇
うき だ はい さいしょ は きも
気を出して入ってみました。最初は恥ずかしい気持ちでいっぱいでしたが、お
ゆ はい きも ふろ ゆ あた からだ つか
湯に入るととても気持ちよかったです。お風呂のお湯は温かく、体の疲れがな
くなっていくようでした。

おんせん せんとう はい まえ からだ あら
温泉や銭湯には、ルールがあります。まず、入る前にシャワーで体を洗います。
そして、お湯の中には髪の毛やタオルを入れないようにします。日本人は、温
せん つか たいせつ まも
泉をきれいに使うことを大切にしています。このルールを守ることで、みんな
きも い
が気持ちよく入れるのです。

いま わたし おんせん だいす は おんせん はい
今では、私は温泉が大好きです。はじめは恥ずかしかったけれど、温泉に入る
ことと なかよ おんせん からだ ところ あた
ことで友だちと仲良くなれました。温泉は、体だけでなく心も温かくしてくれ
ます。日本に来たら、ぜひ温泉や銭湯に入ってみてください。きっと、はじめ
にほん きも たいけん
での気持ちよさを体験できるはずです。

■日本は「同じ言語」を話す国

にほん ひと にほんご はな にほん き がいこくじん
日本では、ほとんどの人が日本語を話します。日本に来たばかりの外国人にと
って、これはとてもびっくりすることです。なぜなら、ほかの国ではいくつか
げんご つか わたし う そだ
の言語を使うことがよくあるからです。たとえば、私の生まれ育ったシカゴは
おお いみん す こくさいてき とし げんご き
多くの移民が住む国際的な都市なので、さまざまな言語が聞こえてきます。た
とえば、スペイン語、中国語、ポーランド語、アラビア語などです。シカゴに
た ぶんか ぶんか げんご たいせつ
は多文化コミュニティがあり、それぞれの文化や言語が大切にされています。

わたし いえ りょうしん ぼくご えいご ことば つか りょうしん
私の家では、両親の母国語と英語の2つの言葉を使っていました。両親はポー
ランド出身なので、家ではポーランド語で話すことが多かったです。でも、学
しゅっしん いえ ご はな おお がっ
校では友だちや先生と英語を使っていました。私にとっては、これが普通のこ
こう とも せんせい えいご つか わたし ふつう
とでした。家ではポーランド語、外では英語という感じです。だから、小さい
いえ いえ そと えいご かん ちい
ころから2つの言葉を自然に使えるようになりました。

最初は「みんな同じ言語を話すなんて、すごいな」と思いました。でも、しばらくすると、日本語がわからないと、とても孤独に感じることがありました。たとえば、電車やお店で周りの人の話がわからなかったり、書いてある看板が読めなかったりしました。そのとき、「言葉が通じない」ということは、こんなに大変なんだと感じました。

たとえば、お店で買い物をするとき、ほしいものを見つけられなくて、店員さんに聞こうと思いましたが。でも、私の日本語がうまく伝わらなくて困ってしまいました。そのとき、「もっと日本語をがんばらなければ」と強く感じました。今では、日本語を少し話せるようになったおかげで、友だちも増えました。そして、日本人と話すことで、日本の文化や考え方をもっと深く知ることができました。最初は日本語が難しいと思っていましたが、今は「日本語を学ぶことが楽しい！」と思えるようになりました。シカゴのようにたくさんの言葉が聞こえる場所も楽しいですが、日本の「みんなが同じ言葉を話す」文化にも、特別な魅力があると思います。

外国人にとって、日本語をすぐに話せるようになるのは難しいです。でも、少しずつ簡単な言葉を覚えるだけでも、日本の生活が楽になります。たとえば、「すみません」「ありがとう」「これ、ください」などの短い言葉を使うと、日本人とコミュニケーションがとれるようになります。

また、少し日本語が話せるようになると、日本人がとても喜んでくれます。「日本語、上手ですね！」と言われると、自分もうれしくなります。そして、日本人たちともっと仲良くなりたいと思うようになります。

■最初は苦手でも今は大好き

日本に来てから、私はたくさんの文化の違いに驚きました。最初は「なんだか苦手だな」と思ったこともありましたが、少しずつ理由を知ることによって、日本文化のおもしろさや楽しさに気づきます。そんな私の体験をお話しします。

まず驚いたのは、レストランで頼んでいないのに出てくる「お通し」です。日本の居酒屋に行くと、注文する前に小さなお皿にのった食べ物が出てきます。

「頼んでいないのに、どうして出てくるんだろう？」と最初は不思議に思いました。でも、友だちが「お通しは、お店のサービスのようなものだよ」と教えてくれました。

でも、注意が必要です。お通しはサービスに見えます但也有料の場合もあります。メニューには書いていないことが多いので、最初は「無料かな？」と勘違いしてしまうかもしれません。お店によっては、席代やテーブルチャージの代わりにお通しを出していることもあります。

500円～800円くらいのお通しが出ることが多いです。お通しの料金は会計のときに合計金額に入っているので、「何も注文していないのに、お金がかかっている？」と思うこともあるかもしれません。でも、これが日本の居酒屋では普通のシステムです。

最初は少し不思議に感じるかもしれませんが、お通しは日本の食文化のひとつです。小さな料理にお店の心づかいや季節感がつまっています。日本の居酒屋に行くときは、ぜひそのお通しも楽しんでみてくださいね。

次に苦手だったのは、日本での現金支払いです。私の国ではカードやスマホ決済が多く、現金を使うことはあまりありません。でも、日本では、カードが使えないお店がまだまだたくさんあります。最初は「え？カードが使えないの？」とあわてたことが何度もありました。それからは、小銭を持つ習慣が付きましました。今ではお財布にたくさんのコインがあると「日本らしいな」と思うようになりました。

それから、日本の交通ルールにも驚きました。日本では歩行者、自転車、車、それぞれのルールがきびしく決まっています。最初は「どうしてこんなに細かいんだろう？」と少し混乱しました。でも、このルールがあるおかげで、日本の交通がとても安全だと気づきました。今では自然に日本の交通ルールに合わせて歩けるようになりました。

ほかにも、小さなことですが、日本のコンビニで食べ物をすると、おしぼりや袋をもらえることにも驚きました。手をふくおしぼりはとても便利です。そして、コンビニやお店の店員さんがいつも笑顔で「ありがとうございます」と言ってくれることが、とても気持ちよく感じました。

いま、最初は苦手だと思った日本文化も大好きになりました。「お通し」や「現金支払い」、細かいルールも、日本らしさを感じるものです。日本文化の中には、最初はびっくりすることが多いかもしれません。でも、その理由を知ること、で、「なるほど、そういうことなんだ！」と理解できるようになります。

みなさんも、日本に来たときには、最初は難しいと思うことがあるかもしれません。でも、日本文化の中にはたくさんの発見と楽しさがあります。

■これから日本文化を楽しみたい人へ

日本に来たばかりのころは、文化の違いにとまどうことがたくさんありました。でも、日本での生活を続けていくうちに、その違いがおもしろいと感じるようになりました。最初は苦手だと思っていたことでも、理由を知ると日本文化が大好きになります。

たとえば、日本には細かいルールやマナーがたくさんあります。時間を守る「5分前行動」、お風呂に入る前に体を洗うこと、食事のときに「音を立てて麺を食べること」など、外国では少し違う習慣です。最初は難しくても、「日本ではこういう理由があるんだ」と分かると、その文化を楽しむことができるようになります。

日本での生活が楽しくなるコツは、「文化の違いを楽しむこと」です。日本では細かいルールやマナーが、生活を便利にしたり、周りの人を大切にするために作られています。たとえば、レストランで「お通し」が出るのは、少しでもお客さんに満足してもらいたいというおもてなしの気持ちです。

また、日本では、困っているときにゆっくり日本語を話すと、たくさんの方が助けてくれます。私も、道に迷ったときや、お店で買い物に困ったとき、優しく教えてもらいました。日本人は英語を話すことが苦手でも、気持ちで助けてくれることが多いです。だから、間違いを気にせず、少しずつ日本語を使ってみることが大切です。

そして、日本文化の中にはすてきな体験がたくさんあります。春の桜、夏の花火、秋の紅葉、冬の温泉など、日本ならではの四季を楽しむことができます。私は、春に見た桜の美しさが今でも忘れられません。そのとき、「日本に来てよかったな」と心から思いました。

最初は「苦手だな」「難しいな」と感じることもあるかもしれません。でも、日本の文化や習慣には、大切な意味や理由があります。それを少しずつ知ること、日本での生活がもっと楽しくなります。日本文化を楽しむことで、新しい自分を発見できることもあります。

苦手だと思っても大丈夫です。少しずつ文化の違いを楽しんで、日本の魅力を見つけてください。きっと新しい発見や素敵な出会いが待っています。

「日本文化の苦手なこと」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

